

浦島太郎

ー

むかしむかし、あるところに、浦島太郎という、わかいいしやうし

がおりました。お母さんと二人でくらしていて、とても心の

やさしい青年でした。

ある日、浦島太郎が浜辺を歩いていると、子供たちがワイワ

いとさわいでいます。「何をしているのか」と近よってみると

四五人の子供が一匹のかめをつついてあそんでいます。太郎は

「これは いけない。」と思い、子供たちに

「おいおい、生きものを」「①」「」。

問ー ①の「」にはどんなことばが

入る よいでしょうか。えらびしよ
う。

ア いじめては、いけないよ

イ いじめるのは、たのしいな

ウ もっと、いじめよう

エ たべては、いけないよ

「」

と言いいました。

子供こどもたちは、わーっとなげにげていきました。

太郎たろうは、かめにやさしく声こえをかけます。

「もう、だいじょうぶだよ。海うみへお帰かえり。」

そう言いって、かめを「②」波打なみうちぎわまで、はこんであげると、かめは海うみの中なかへきえていきました。

問2 ②の「」にはどんなことが
入はいるいいでしょうか。 えらばしよ
う。

ア けりとばして

イ つついて

ウ かかえて

エ なぐって

「」